



## チェアの選定および使用上の注意

- おおむね体重35kg～90kgの方が快適に使用できるように設定しております。この範囲を大きく超える方がご使用になられる場合、劣化や破損につながり、使用期間が短くなる恐れがあります。
- 床に傾斜や段差のある不安定な場所では使用しないでください。転倒してけがをすることがあります。
- スタッキングタイプのチェアを積み重ねる際は、水平な床面以外では行わないでください。転倒してけがをすることがあります。
- 屋外や直射日光の当たる場所、火のそば、水のかかる場所、滑りやすい床面で使用しないでください。
- ガススプリングを火に入れたり、分解・注油しないでください。爆発してけがをするおそれがあります。
- チェアを運搬台や台車代わりに使用しないでください。転倒や落下してけがをすることがあります。
- チェアを踏み台代わりにして上に立ったり、肘の上に腰掛けたり、座面先端や逆向きに座ったりしないでください。転倒してけがをすることがあります。
- 幼児を1人で座らせたり、操作させないでください。転落や転倒をしてけがをすることがあります。
- 廃棄するときは専門業者、または販売店にお問合せください。焼却すると有毒ガスが発生することがあります。
- 部品交換・追加などの施工は、販売店にご依頼ください。
- 異常を発見したらそのまま使用せず、購入店にお申し付けください。破損や本体が倒れてけがをすることがあります。

## 木製家具(突板・無垢材を使用した家具) お買い上げにあたって／ご使用上の注意

- 天然素材のため一つ一つに特徴があり、木目、節、色、風合いなど、様々な表情が現れます。納入される製品についても、展示品やサンプルとは木目や色柄が異なりますのであらかじめご了承ください。
- 複数の天板をつなぎ合わせる連結タイプの場合、木目や色柄にバラつきが出る場合があります。
- 天板と配線フタが同じ種類の木目の場合、木目は揃わない仕様となります。
- 経年変化により少しずつ色が変化します。天然素材の味わい深い表情としてあらかじめご了承ください。また、追加で購入された場合、購入済の製品と木目や色柄が異なりますのであらかじめご了承ください。
- 天然の木材は、低温により収縮、高温により膨張し、割れ・反り・ねじれ・表面材の剥がれが生じることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 直射日光の当たる場所に設置しないでください。変形や変色の原因になります。
- 天板の上に熱い茶碗や結露したコップを直接置かないでください。白っぽい跡がつくことがあります。必ず茶たなどを介してご使用ください。また、飲み物などをこぼした場合はそのまま放置せず、すぐに拭いてください。変色する場合があります。
- 天板の上にビニールやプラスチックを直接置かないでください。塗装面と化学反応を起こし、軟化やべたつきを生じることがあります。
- 天板の上に直接、金属や陶器などの硬くて角ばったものを置かないでください。表面にきずがつくことがありますので、敷物を使用してください。
- ボールペンなど硬い材質の筆記具の使用もしくは、強い筆圧で筆記された場合、天板面に跡が残る場合があります。筆記の際は、デスクマットなどの下敷きのご利用をおすすめします。
- 天板の色柄によって、使用状況や光の状況で指紋などの汚れが目立つ場合があります。
- 表面の手入れにはシンナー、ベンジン、ガソリン、アルコール、ワックスなどは使用しないでください。塗装面を傷めます。汚れがひどい場合は中性洗剤を水で薄めて拭いてください。その後、洗剤が残らぬよう固く絞った布で水拭きをし、さらに柔らかい乾いた布で乾拭きしてください。



木製家具について、詳しくはHPをご覧ください。

## 木目調メラミンを使用した家具のお買い上げにあたって

- 木目柄はランダムのため、複数の天板をつなぎ合わせる場合や、複数の収納扉が並ぶ場合、木目は揃わない仕様となります。
- 天板と配線フタが同じ種類の木目の場合、天板と配線フタの木目は揃わない仕様となります。

## 製品の特徴を十分に生かしていただくために

### 【本革部のお手入れ】

- 本革はご使用状況によって伸び、表面に差異が生じることがあります。天然モノの特徴の一つですのでご了承ください。
- 本革は直射日光と熱に弱いので、設置環境に注意してください。ご使用になる前に革専用のプロテクト剤を塗っておくと、革の美しさを長く保つことができます。
- 通常は、乾いた柔らかい布で乾拭きし、ホコリをこまめに取り除くようにしてください。
- 汚れがついてしまったら、すぐに拭き取ってください。長時間おくと汚れが取れなくなってしまいます。
- 汚れた場合には、市販の本革用クリーナーを使用してください。
- 年に1回くらいの割合で、皮革専用クリームを薄くおぼすように塗っておくと長持ちします。

### 【抗菌・抗ウイルス性能を備えた天板のお手入れ】

- 天板の表面が汚れたままですと抗菌・抗ウイルス効果が十分に発揮されません。清掃を適切におこない清潔を保ってご利用ください。
- 清掃の際には柔らかい布を使用し、水拭きするか薄めた中性洗剤を使用してください。洗剤が残らないように水拭きで取り除き、さらに乾拭きして乾燥させてください。
- 抗ウイルスタイプは耐薬品性を備えていますが、薬品が付着した場合には素早く除去してください。放置しておくと変色することがあります。
- 表面の艶が変化するほど摩耗すると抗菌・抗ウイルス性能が低下することがあります。

### 【合成皮革・ビニールレザー部のお手入れ】

- 通常は、乾拭き、または固く絞った布で水拭きしてください。
- 汚れた場合には、薄めた中性洗剤で拭き取ってください。その後、少量の水で濡らした布で洗剤を取り除いてから乾拭きしてください。
- レザー部を消毒する際のご注意 ※耐アルコール・耐次亜塩素酸のみ 日常の清掃の際に、アルコールまたは次亜塩素酸ナトリウム溶液で消毒する必要がある場合は、その後に必ず消毒剤が残らないように、水をよく絞った布で取り除き、さらに柔らかい布で水分が完全になくなるまで乾拭きして乾燥させてください。

#### <注意事項>

- 表面に消毒剤が付いたまま放置すると、変色や劣化のおそれがあります。
- 必要以上の頻度や濃度で拭くと、変色や変形、硬化を早める原因になります。
- 使用する消毒剤とその濃度は、製薬メーカーとよく相談の上、選定してください。
- 消毒剤に定められた用法・用量を厳守してください。
- 消毒剤の種類によっては、その残留物により椅子を使用される方に皮膚疾患などが現れるおそれがあります。
- 染料移行について 色落ちしやすい衣服がビニールレザー（PVCレザー）に触れると、衣服の染料がレザーに移行することがあります。これは、PVCレザーに含まれる可塑剤（レザーを柔らかくしたり、風合いを出すために必要な物質で、すべてのPVCレザーに含まれます）との化学反応で起こるものであり汚れてはなりません。移行した染料は取り除くことはできませんので、ご注意ください。 ※色落ちしやすい衣服の例：本革、ジーンズ、作業服など

### 【布部のお手入れ】

- ホコリや汚れをこまめに取り除いて、いつも清潔に保つことが張り地を長持ちさせるコツです。
- 通常のお手入れは、柔らかいブラシで表面を軽く叩くか、掃除機をかけてください。特に、縫い目や隙間に入った汚れは掃除機で吸い取るようにします。
- 汚れがついてしまったら、すぐに濡れタオルなどで拭き取ってください。長時間おくと汚れが取れにくくなります。
- 汚れた場合には、温湯で薄めた中性洗剤で軽く叩くようにして拭き取ってください。その後、少量の水で濡らしたタオルで洗剤を取り除いてください。

### 【ガラス部のお手入れ】

- ヒビや欠けが生じた場合、そのままのご使用は非常に危険です。使用を中止し、修理または交換をしてください。
- 通常のお手入れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。
- 汚れた場合には、ガラスクリーナーや薄めた中性洗剤で汚れを落とし、洗剤を拭き取ったあと乾拭きしてください。

### 【金属・樹脂部のお手入れ】

- 研磨剤の入ったクリーナーや金属タワシは、表面を傷つけますので使用しないでください。
- 通常のお手入れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。
- 汚れた場合には、薄めた中性洗剤で汚れを落とし、洗剤を拭き取ったあと乾拭きしてください。